

千歳池 (ちとせいけ)

位置図



諸元

貯水量	260	千m ³
満水面積	5.8	ha
受益面積	500	ha
堤高	10.9	m
堤長	516.3	m

千歳池は大野原町の西南部にある池です。背後には高尾山を控え、池から西を見れば、観音寺市の平野を一望し瀬戸内海に突き出た庄内半島や伊吹島を見ることができる少し小高い場所にあります。

古くは千年池と記され、延宝3年(1675年)に井関池の補助池として築造されました。その後、享保7年(1722年)からの増築工事では常盤池・緑池を、昭和16年(1941年)からの増築工事では青葉池を併合して、現在では井関池に次ぐ大きなため池です。

青葉池の併合工事は昭和14年(1939年)の歴史的な大干ばつと新田開発による新しい水需要を受けたものでした。この工事は、戦時下であったため労力資材ともに乏しく、工事の遅延を余儀なくされましたが、勤労働員に加え近郷からの農兵隊も加わり、盛土の搗き固めは「千本搗き」と呼ばれる婦女子の地搗き音頭が中心となった、老若男女の協力により工事は進捗しました。

併合された青葉池の起源は井関池よりも古く、寛永6年(1629年)に西嶋八兵衛により築造されたものと伝えられています。旧青葉池西隅町道添いには、明治時代に青葉池の樋替をしたことを記した碑が今でも残っています。



千歳池



青葉池の碑